

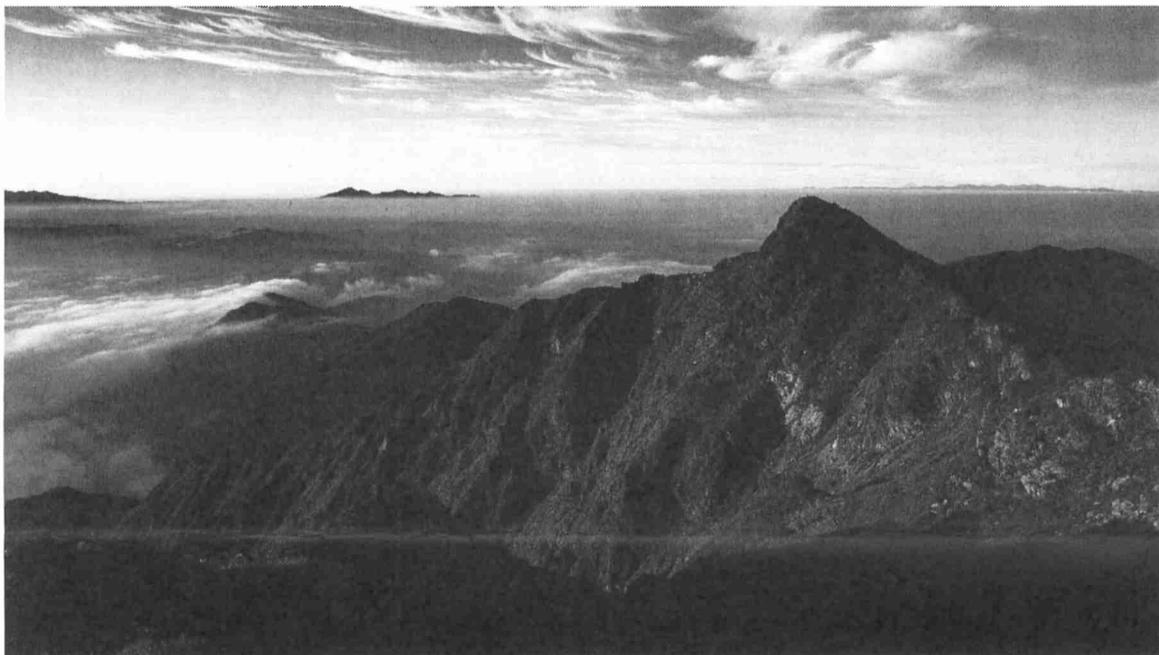
ぜん ぎょう じ  
善巧寺報

7 月号



月刊 ● 善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号  
TEL 048(734)7660  
榎本明覚



● 谷川岳朝焼け ●

夏山の  
洗ふたやうな  
日の出哉

小林一茶 「書簡」寛政十年

朝焼けの谷川岳トマの耳、夏山に広がる大雲海（日本百名山のひとつ）（群馬・新潟の県境）

季節の山と湖

～ 谷川岳 ～

▼二〇二三年七月一日▲

# 定例法座

毎月  
十一日

◎七月十一日(月)午後二時

～三時

於 善巧寺 法輪会館

## 「生死出づべき道」

大正十(1912)年、親鸞聖人の奥方様の手紙十通が西本願寺の蔵から発見されました。これを『恵信尼消息(文書)』と言います。鎌倉時代の女性が書いた文献自体希少なものであり、その歴史的価値から国の重要文化財に指定されました。また浄土真宗の教えを学ぶ上で、親鸞聖人がご自身では書き残されなかった若き求道時代の事も記されており、教育的価値からしても重要な文書です(恵信尼さまは、まさか自分の手紙が後世そんな価値あるものになるとは夢にも思っておられなかったかもしれません)。

第一通目は、末娘覚信尼が父である

親鸞聖人の臨終を看取りその様子を伝えた手紙への返信になります。覚信尼の手紙は現存していませんが、返信の内容からして、どうやら父親鸞聖人は本当にお浄土に参られ成仏されたのだろうか?という不審が含まれていたようです。越後(実家の莊園管理のためと言われる)にいらつしやつた恵信尼公は、生前親鸞聖人が仰っていた事をしたためて疑う用はありませんと返答されました。なぜなら法然聖人の教えを受け「生死出づべき道」はすでにその時に解決し終わっていたからです。私たちの浄土往生を決定するのは臨終の良し悪しでも世間の人たちの評判でもなく、ひとえに阿弥陀仏の大慈悲に依るのです。言い換えれば、種々雑多の私たちの煩惱に依るのではなく、清浄円満利他に徹した仏心に依るからこそ、浄土に往生すると言

えるのです。阿弥陀仏の大慈悲とは

「必ず極楽浄土に参らせて心身穏やかな仏となすからどうか頼りにしておくれ」といつでもどこでも呼びかけて下さる南無阿弥陀仏がそれです。仏のまことごころ、貴賤男女老少分け隔てなく百人いれば百人ながら千人いれば千人ながら皆大悲のお心を聞かせて頂いて共に安楽国に往生するのですから、臨終の良し悪しを論ずるは無意味・ナンセンスと言つてよいでしょう。

「眞実信心の行人は、摂取不捨のゆえに、正定聚のくらいに住す。このゆえに、臨終まつことなし、来迎たのむことなし。信心のさだまるとき、往生またさだまるなり。来迎の儀式をまたず。正念というは、本弘誓願の信樂さだまるをいうなり。この信心うるゆえ

に、かならず無上涅槃にいたるなり。  
この信心を一心という、この一心を金剛心という、この金剛心を大菩提心というなり。これすなわち、他力のなかの他力なり。」

『親鸞聖人御消息』第一通

親鸞聖人七十九歳、常陸国の門弟に宛てたお手紙です。

# みほとけ会月例会

## ※ ZOOM ミーティング ※

開催日時は、

毎月第一木曜日、第三木曜日  
午後八時開始・九時すぎ終了

参加ご希望の方は、

jetfidget@gmail.com

まで

### ◆◆春日部だより◆◆

◎異例の早さで梅雨明け、そして連日の猛暑。これから七月八月いわゆる夏本番がやってくるのですよね、と考えたとアタマがクラクラする思いがいたします。とはいえ自然は人の思いに合わせて振舞ってくれませんから、私たちがするべきは暑さ対策です。水分補給・お部屋の温度が上がりにすぎないよう空調を(電力不足の時は、クーラー扇風機最優先でテレビや照明を消すのがいいでしょう。ラジオなら乾電池で聞けますし)。住職は今年のお盆参り道中はさすがに厳しいと考え、遮光一級の折りたたみ日傘を買いました。効果や如何に？

◎東京神奈川のご門徒さままで例年お盆参詣に伺っておりますお宅には、参詣日時についてのお手紙を同封しております。正確な日頃よりごお願い申し上げます。Covid-19の感染状況も日々変わってくるのかと思わ

れます。変更等ご遠慮なく、善巧寺(048-734-7660)までご連絡ください(留守番電話になる事もございます)がお名前ご用件を録音いただければこちらからお掛け直しいたします。◎なお、本年も訪問参詣出来なかったご家庭のため、七月十六日(土)午後五時善巧寺法輪会館にてインターネット動画配信によるお盆法要をお勤めします。善巧寺ホームページ、またはYoutube住職ちゃんねるにてご覧頂けます。

<https://zengyouji-web.sakura.ne.jp/>

